



2017年2月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第149号

川口クラブ会長 楽しかったと言える1年を！
 主 湘南・沖縄部部长 あなたが退会しない理由は？
 東日本区理事 明日に向かって、今日はたらこう
 題 アジア会長 ワイズ運動を尊重しよう
 国際会長 私たちの未来は今日

今月の聖句(強調月間：TOF)

雄々しく強くいきなさい。何事にも愛をもって行いなさい。

コリントの信徒への手紙一 16章13節

12月クリスマス祝会報告



12月10日
 本例会を終え、いよいよ今年のクリスマス祝会、いつもの口の字型の座席配置のまんなかの島には

皆さんからの交換プレゼントやクリスマスの飾り、さらに篤志家からの皆さんにとご寄贈のクリスマスのギフトカード、沢山の信州りんごと柚などが所狭しと積み、正面ボードにも、これまた美しいクリスマスのタペストリーがかけられ、教室中にクリスマスの雰囲気が満々とあふれていました。

祝会の司会担当の佐藤節子さんの開会宣言でいよいよ祝会の幕開け、消灯、4本のローソクに点火、厳かな雰囲気に一変、浅沼担当主事のルカによる福音書2章4節から15節までの朗読と祈祷、全員とんがり帽子をかぶり、小林美智枝さんのリードで、「きよしこの夜」「もろびとこりて」の合唱。

交換プレゼントはビンゴゲームで、一番のりは堀

例会データ	1月	在籍会員	20人
会 員	14人	メイキャッツプ済み	
ビジター	3人	出席率	
ゲ ス ト	1人		
合 計	18人		75%

田さん続いて小林 秀さん、偶然か、神様のおぼしめしかお二人が一、二番とは。



前からお願いしていた小松さんがトランペットでアメージング・グレースほかを演奏下された。

最後は佐藤節子さんのリードで全員が輪になり「ふるさと」を歌い、会員の友情と結びつきを確認。

クリスマス祝会の企画をはじめから指導してこられた川口会長から閉会の挨拶で、会員全員へのねぎらいの言葉を頂いた。

Merry Christmas 楽しい楽しいクリスマス祝会でした。(小林 秀、ほか)

使用済み郵便切手1kg 収集達成の件御礼

使用済み切手を集めましょうと皆さんにお願いしてきましたが、12月10日のクリスマス祝会の日

に頂いた50gで目標の1kgに達しました。クラブができて11年半の間で1kg 収集達成を3度記録することが出来、ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

先輩のお話では、使用済み切手を収集整理換金、BFに拠出するのが以前は主力だったようですが、現在は現金による方法が主力に変わってきています。

BF (Brotherhood Fund) 兄弟愛ファンドとも訳

しまししょうか、国際協会に全世界から集約されるBF資金は18~20万ドル/年で国際役員の海外出張



や、BF代表として今後が期待される成長株のワイズを海外のワイズ事情の研修に派遣する費用に用いられています。

使用済み切手1kgで600円(外国切手は1,000円)で換金され、古新聞の方が高いとの声もありますが、無から有を生む貴重な作業だとも思いますし、先人たちの思いを偲ぶ貴重な作業のようにも思います。

昔は切手を水に漬け、はがして拋出していたのですが、お風呂に水を張って切手をはがしたところ数日風呂桶がぬるぬるになって入ることが出来なかったというような失敗談を伺ったことがあります。

重さで換金されますので、切手の周りを3mmの余白で切り取ることになっています。そして集められた切手は部でまとめられ、切手を換金するために決められたフィラテリストのフクオに届られ、所定の事務手続きを済ませ、お金は直接東日本区に送金されます。

YとYsの放談会

予定どおり1月13日17時から厚木市アミューの603号室で厚木Yから奥菌館長はじめ6人、当方から川口会長はじめ7人が出席。今後の行政との協働について、ゆっくり話し合うことができました。

冒頭、石井さんから厚木市の現状についていろいろお話がありました。たとえば厚木市の市民満足度は県内一位であり、「子育て・教育環境日本一」を目指し、市民みんなで元気な厚木を作ろうとさまざまな事業が行われている。

それらについては市の月報を見ていただければ、毎月行事予定が記載されているので、その中からYMCAやワイズができることがあれば、参加して市民の皆さんと共に汗を流していただきたい。

12月中町西自治会の地域清掃活動と夜間パトロールにYが参加したというので、中町のほかの自治会からも手伝ってほしいという声が出ている。

今まで厚木市の中でYMCAがあるということ

知っている人は、ごく少数だった。いきなり、大きいことをするのでなく、今回のように、既存の活動に参加して市民と汗を共に流すことから始めていただくのがいいのではと思っている。

たとえば駅前商店街もYの協力を希望している一つだが、駅前からYまでの間の道路の美化で、プランターに花を植え管理するといった活動では、プランター他は市が貸与するのでほとんどお金はかからずに済むので参加しやすいと思うのだが。

市の最大のイベントの夏の花火大会では翌日の河川敷の清掃が大変で毎年、かなり大勢の市民が出て清掃作業をしているが、これへの参加、あるいは当日の案内係を引き受けるなども市民にYを知ってもらうよいチャンスではないかと思う。

Yの方からは、厚木Yの日本語学科が好評で、学生数が百人を突破するところまで来ている。ところが居住するところが厚木の学生は3割程度、アルバイトに日本語研修に役立つという事で、食堂関係を望む人が多く、厚木には残念ながらそれだけのお店がないのが原因とみているが、折角厚木で学んでいるのだから、厚木に住んで厚木の良さを知ってもらえればもっといいと思う。これに対して石井さんから、厚木周辺には移転していった大学などの寮や住んでいたアパートが空き家になってかなりの数あるので、Yが仲介にはいって努力されれば、お部屋はかなり確保できると思う、厚木周辺にはいま物流関係の施設が続々建設されており、雇用も活発化しているので双方で日本語学習に就いて何か工夫できないか、一緒に考えてみてはとおもう。

また横浜Yに、外国人介護福祉士養成という企画があり、奨学金の支給という案も取りざたされおり、当然住むところについても問題になると思うので、こんご石井さんにいろいろお知恵拝借に行くことになると思うのでよろしくとの話もありました。また資金集めのお話など、もりあがりました。次回からはクラブの行事の一つとして、石井さんを囲んでのYとYsの話し合いの会合をつづけさせていただきたく、よろしく願申し上げます。

2月例会ご案内

2月22日(水)

卓話 日本語学科の皆さん(予定)